

■ 著作者

林 敏彦 大阪大学名誉教授
藤井 讓治 京都大学名誉教授
水内 俊雄 大阪市立大学教授

有賀 保英 名城大学附属高等学校特任教諭
五百旗頭真 熊本県立大学理事長
池野 範男 ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長
泉 拓良 広島大学大学院教授
一ノ瀬俊明 京都大学名誉教授
伊藤 正直 国立環境研究所上席研究員
伊藤 光利 名古屋大学大学院教授
井上 満郎 大妻女子大学教授
馬田 綾子 京都産業大学名誉教授
大庭 邦彦 梅花女子大学名誉教授
奥山 研司 聖徳大学教授
角田 将士 花園大学教授
川北 稔 立命館大学准教授
金田 章裕 大阪大学名誉教授

栗栖 薫子 神戸大学大学院教授
桑原 敏典 岡山大学大学院教授
小長谷有紀 人間文化研究機構理事
米家 泰作 京都大学大学院准教授
指 昭博 神戸市外国語大学教授
佐藤 幸治 京都大学名誉教授
佐藤 廉也 日本学士院会員
杉山 伸一 大阪大学専任講師
杉山 勉 京都府中学校・高等学校
高岡 裕之 前中学校教頭
田口 紘子 関西学院大学教授
棚橋 健治 鹿児島大学准教授
辻中 豊 広島大学大学院教授
堤 研二 筑波大学大学院教授
土井 真一 大阪大学大学院教授
永田 成文 京都大学大学院教授
西宮 秀紀 三重大学教授
野間 敏克 愛知教育大学教授
同志社大学教授

橋本 康弘 福井大学教授
二川 正浩 東京家政大学准教授
松田 聰子 桃山学院大学教授
水山 光春 京都教育大学教授
溝口 常俊 名古屋大学名誉教授
宮口 侗勉 早稲田大学教授
村山 良之 山形大学大学院教授
森 実 大阪教育大学教授
谷田部玲生 桐蔭横浜大学教授
山田 晴通 東京経済大学教授
山根 拓 富山大学教授
吉川 真司 京都大学大学院教授
日本文教出版株式会社
防災・安全教育に関する校閲
片田 敏孝 群馬大学大学院教授
河田 恵昭 関西大学教授
特別支援教育・カラーユニバーサルデザインに
大内 進 国立特別支援教育総合研究所
客員研究員

この広報誌は、スマートフォンやタブレットをかざすと動画が楽しめます！

●「カザスマート」アプリを立ち上げ、マークがあるP.13の紙面にかざすと、動画が始まります。
※動画は、2015年8月31日まで視聴することができます。



●専用アプリ「カザスマート」をダウンロード下さい。



社会科 *navi* Vol.10

日文教育資料[中学校社会]
平成27年(2015年)6月10日発行
編集・発行人 佐々木秀樹

発行所 日本文教出版株式会社
〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL: 06-6692-1261

本書の無断転載・複製を禁じます。

CD33283

日本文教出版 株式会社
<http://www.nichibun-g.co.jp/>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171
東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618
九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938
東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F・B
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261
北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690

社会科 *navi*

日文教育資料 [中学校社会]

2015
Vol.10



もくじ

平成28年度版『中学社会』教科書特集号

日文「中学社会」ココがPOINT!

教えやすく、学びやすい紙面です	2
基礎・基本を着実に定着させることができます	4
思考力・判断力・表現力を育成できます	6
今日の社会を生きる子どもたちのために	
① 人権・共生社会にかかわる教材	8
② 平和・国際理解にかかわる教材	9
③ 伝統・文化にかかわる教材	10
④ 我が国と郷土にかかわる教材	11
⑤ 環境・持続可能な社会にかかわる教材	12
⑥ 災害・防災にかかわる教材	13
⑦ 情報にかかわる教材	14
⑧ 社会参画にかかわる教材	15

地理的分野 ココがPOINT!

地域的特色を確実に理解できます	16
地域的特色の理解をサポートします	18
今日的課題についての考察が可能です	20

歴史的分野 ココがPOINT!

歴史の流れを理解しやすい配列です	22
歴史の言語活動の取り組みをサポートします	24
歴史を楽しく確実に学ぶことができます	26

公民的分野 ココがPOINT!

学習段階に応じた言語活動を支援します	28
将来を見すえ、社会参画への意欲を高めます	30
公民の学習への新しい工夫があります	32

●充実! 日文のデジタル教科書(指導者用)、
教師用指導書、拡大教科書 34

日文の実践事例、教科情報

詳しくはWebへ!

未来をになう子どもたちへ
日本文教出版

日文『中学社会』 ココがPOINT!

教えやすく、学びやすい紙面です

日本文教出版の新版『中学社会』教科書（地理的分野・歴史的分野・公民的分野）は、生徒が学習内容を確実に身につけ、意欲的に楽しく学習を進められるよう、さまざまな工夫・改善を行いました。各分野の紙面をご紹介しますながら、『中学社会』教科書の特色をご案内します。

日々の学習の舞台となる教科書紙面では、1授業時間＝見開き2ページの基本構成はそのままに、授業で教えやすく、生徒が学びやすい紙面の実現のために、以下のような改善を加えました。

- 主な改善点
- ◆教科書紙面の拡大
 - ◆紙面のユニバーサルデザイン化
 - ◆印刷・製本に関する取り組み



紙面のユニバーサルデザイン化①

専門家によるチェック

すべての生徒が等しく情報を読み取ることができるように、特別支援教育・カラーユニバーサルデザイン(CUD)の観点から、大内進先生(国立特別支援教育総合研究所)に校閲をお願いしました。

教科書紙面の拡大

ワイドな判型「A B判」に

教科書の判型を、B5判よりも紙面の左右が3cmずつ広いA B判にしました。写真や地図などの図版をよりダイナミックに配置し、本文や側注部はゆったりとした文字配置にすることで、ビジュアル性の高い紙面構成になりました。

印刷・製本に関する取り組み①

美しい紙面を支える印刷技術

写真や地図などの図版を美しく再現する印刷には、長年にわたる図工・美術の教科書発行に裏打ちされたノウハウを活かしています。発色がよく、カラーバランスにも優れた紙面は、図版資料の読み取りを容易にしています。

印刷・製本に関する取り組み②

環境に配慮した印刷・製本

印刷には植物油インキを使用し、製本などにも化学物質過敏症の原因物質を使用しないように配慮しています。また、軽量かつ丈夫で裏写りのしない再生紙を使用するなど、人体や環境への影響を少なくしました。

B5判→A B判
3cm 拡大!

3cm 拡大!

紙面のユニバーサルデザイン化②

「レイアウト」について

本文は、原則1授業時間＝見開き2ページとし、授業や生徒の思考の流れに即したレイアウトにしています。

①導入資料→②学習課題→③本文→④学習の確認と活用

また、学習している単元をすぐに確認できるように、見開きの左端にインデックスを入れています。

紙面のユニバーサルデザイン化③

美しく、読みやすい書体

本文は、iPhoneや高速道路の標識にも使われている美しく読みやすい書体を採用しています。

本文：ヒラギノ明朝体

重要語句：ヒラギノ角ゴシック体

重要語句には、すべてルビ(ふりがな)を入れました。ルビの書体にもヒラギノ角ゴシック体を採用し、小さな文字も読み取りやすくしています。



2 学習課題

交通網の整備は、どのようなプラス面とマイナス面の影響を、地域にあてるのだろうか。

3 本文

過疎化の進展と高速道路の整備

中国地方では、新幹線や高速道路などの高速交通網が東西にのび、近畿地方や九州地方との結びつきが強くなっています。東西に走る高速道路のうち、過疎地域の活性化のために、中国自動車道が先に建設されました。高速道路はさらに中国地方の南北方向や四国地方に広がり、各地への交通が便利になりました。高速道路沿いの市町村では、工業団地がつくられて工業が盛んになり、住宅地がつくられて人口が増えたりするところもできました。

4 中国自動車道沿いの市町村の工業製品出荷額(経済産業省資料ほか)

5 重要語句

地図版を見て、高知からの野菜の出荷や、徳島からの高速バスが、岡山・大阪まで走るルートを考えてよう。

1. 1988~1997年のあいだのルートを考えてよう。

2. 1998年以降のルートを考えてよう。

6 大阪の市場での四国地方の農産物・水産物のシェア(大阪中央卸売市場資料)

7 学習の確認と活用

確認 交通網の整備による影響を、光(プラス面)・影(マイナス面)に分けて整理しよう。

活用 本州と四国地方のあいだに三つのルートで連絡橋が建設されたことで、どのような利点と問題点があると思うか、自分の考えをまとめて発表しよう。

④学習の確認と活用

8 印刷・製本に関する取り組み②

環境に配慮した印刷・製本

印刷には植物油インキを使用し、製本などにも化学物質過敏症の原因物質を使用しないように配慮しています。また、軽量かつ丈夫で裏写りのしない再生紙を使用するなど、人体や環境への影響を少なくしました。

9 紙面のユニバーサルデザイン化④

図版表現を識別しやすく

すべての生徒が教材の情報を正しく読み取ることができるように、地図やグラフなどは、読み取りやすい配色にするとともに、形や模様、線の種類など、色以外の情報でも識別できるようにしました。また、図版などの中に示した文字が読み取りやすくなるように白抜き・白フチにするなどの配慮もしています。

10 通しました。

その結果、岡山県と四国地方のあいだを移動する人が増え、通勤・通学者も急増しました。また、四国地方から近畿地方への貨物輸送も、短時間で安定して輸送できるようになりました。大阪などの市場では、新鮮さが求められる農産物や水産物に、四国産のものがたくさん出まわるようになっていきました。さらに、関西大都市圏などと四国地方の各地を結ぶ高速バスのネットワークが充実して、四国地方への観光客も増えました。本州や四国とつながったことで、救急病院への患者の搬送がスムーズになった島もあります。

11 全国で初めて設置された津波救命艇(2014年, 高知県高知市) 最大35人が逃げこめます。内部に25人が1週間過ごすための水と食料を備蓄しています。

12 紙面のユニバーサルデザイン化⑤

図版番号を設定

図版には番号を付し、授業の際に使いやすくなりました。また、本文にも関連する図版番号を添え、本文と図版を関連させて読み取ることで、よりよく理解できるようにしています。

13 地理P.190~191

思考力・判断力・表現力を育成できます

見開きの学習の「導入」と「まとめ」のあいだの「展開」の部分に、「言語活動コーナー」を新設し、生徒に思考・判断・表現を促すコーナーを拡充しました。生徒が主体的に毎時間の言語活動に取り組むことを通して、思考力・判断力・表現力をのばし、理解を深めることができました。

アクティブ・ラーニングに対応したコーナーです。

1 学習の「導入」で

導入資料と吹き出し

導入資料とキャラクターの問いかけをきっかけに、生徒は学習意欲を高めることができます。

学習課題

この見開きでどのようなことを学んでいくのかについて、生徒は見通しをもつことができます。

キーワード

「学習の確認と活用」の問いかけに答えるときなどに、生徒はここに整理した言葉を活用して表現することができます。



織田信長と豊臣秀吉は、どのような勢力と戦っているのか。

織田信長と豊臣秀吉の勢力の広がり

信長・秀吉の全国統一までのあゆみ

年	できごと
1560	桶狭間の戦いで今川義元を破る
1569	羽の自治権をつばう
1570	一谷一段との戦い(～80)
1571	比叡山延暦寺を焼き討ちする
1573	笠置藩をほろぼす
1575	長篠の戦いで武田氏を破る
1576	安土城を築く
1577	安土城下に茶臼・楽座築
1582	本能寺の変(信長没)
1583	山崎の戦いで明智光秀をたおす
1584	太閤検地を始める(～98)
1585	大坂城を築く(～85)
1586	関白となる
1588	刀狩令を出す
1590	全国統一を果たす

4 全国統一と近世社会の基礎づくり

豊臣秀吉の全国統一

太閤検地

近世

↑ 歴史P.108～109

2 学習の「展開」で

言語活動コーナー

読み取ろう 「学習課題」と「学習の考えよう 確認と活用」のあいだを

まとめよう つなぐこのコーナーに示

伝えよう された言語活動に取り組むことで、生徒は、この見開きの学習のねらいに段階的に迫っていくことができます。

学習の確認と活用

学習の確認と活用

「学習課題」に対応した確認・活用の2段階の言語活動に取り組むことで、生徒は見開きの学習の理解を確かにするとともに、その知識を活用してさらに考えを深めたり、現実の問題に取り組んだりすることができます。



検地に使われたものさし(検地尺 鹿児島市 高古集成館蔵) ×と×のあいだが1尺(約30cm)です。

1589年の検地帳(熊本県立図書館蔵)

刀狩令

秀吉は、刀狩を行う理由をどのように説明しているだろう。

太閤検地の結果、検地帳に記された百姓は、その田畑を耕作する権利を認められた代わりに、定められた年貢を村ごとに領主である武士に納めることになりました。武士は、その領地を石高であらわされ、石高に応じて軍役を負担することになりました。こうして、公家や寺社は、それまで荘園領主としてもっていた田畑に関する権利をすべて否定され、勢力を失いました。

秀吉は、刀狩を行って、百姓から刀・弓・やり・鉄砲などの武器を取り上げました。刀狩と検地によって、一揆などの百姓の抵抗を防ぎ、武士と百姓とを区別する兵農分離を進めました。さらに、百姓が田畑をすてて武士・町人(商人・職人)になることや、武士が百姓や町人になることなどを禁止しました。武士と町人は町に、百姓は村にというように住む場所も固定しました。こうして、武士と百姓・町人との身分のちがいははっきりさせて、近世社会のしくみを整え、武士による支配を固めていきました。

また、秀吉は、初めはキリスト教を保護しましたが、長崎がイエズス会の領地になったことなどから、国内統一の邪魔になると考え、布教を禁止し、宣教師を追放しました。

109

3 学習の「まとめ」で



●各分野では、思考力・判断力・表現力の育成に関して、次のような工夫をしています。

●地理的分野

「スキルUP」コーナーの設置

地理的事象について考え、判断し、自分の言葉で表現する際に必要となる地理的技能を整理し、生徒が発達段階に応じて系統立てて習得できるように、「スキルUP」を随所に設けました。

このコーナーは、以下の5種類に整理しています。

- ①地理的な決まりを身につける
- ②地図を活用する
- ③写真を活用する
- ④統計資料を活用する
- ⑤調べ方を身につける

本書P.19を参照

●歴史的分野

「とらえよう! 時代の転換」と「学習の活用 とらえよう! 時代の特色」の設置

生徒が学習したことを活用しながら、「時代の転換のようす」や「時代の特色」について考え、判断し、自分の言葉で表現することを促す言語活動を重視し、各時代に配置しました。こうした学習に取り組むことによって、生徒は各時代の特色の理解をいっそう深めることができます。

本書P.24～25を参照

●公民的分野

「チャレンジ公民」と新コーナー「アクティビティ」などの設置

「チャレンジ公民」は、各編(章)の学習内容に関する事例問題を解決するページです。生徒は、ものごとの考え方や話し合いの技能などを学ぶことができます。

「アクティビティ」は、授業で取り組むことができ、提示した具体的な作業学習に取り組むことで、生徒は学習の理解を深めることができます。

本書P.28～29を参照

① 人権・共生社会にかかわる教材

差別のない社会をめざして

全国水平社創立大会の宣言

全国に散在する部落の人々を、団結せよ。ここにわれわれが人間を尊敬することによって、自らを解放しようとする運動を起こしたのは当然である。われわれは、心から人生の熱と光を求めるものである。水平社はこうして生まれた。
人の世に熱あれ、人間に光あれ。

(1922年 一部要約)



④ 西光万吉 (1895~1970)
(奈良県、水平社博物館蔵) 水平社の綱領や宣言は、西光万吉が起草しました。被差別部落に住む人自らが、誇りをもち、解放運動に取り組むべきであるとして、日本初の「人権宣言」といわれています。



被差別部落の人々

⑦ 全国水平社の演説会で差別とのたたかいを語る山田幸野次郎 (1924年 大阪市)

↑ 歴史P.217

教科書全体を、人間尊重の考え方を基本理念として構成しています。人権尊重・男女平等などの観点から、先人の取り組みはもちろん、現代の日本や世界の基本的な人権にかかわる事例を随所に提示しました。これらの学習を通して、多文化共生社会を生きる生徒に必要な態度を養うことができるようにしました。

女性史

中世の女性たち



⑤ どうぶつ売り (七十番職人歌合 東京国立博物館蔵) ⑥ 中世の京の町のような上杉茶室(洛外図) 山形県 栄光市上杉博物館蔵 ⑦ 店先で客の相手をする女性や、荷物を運ぶに備わった女性たちが、いきいきと描かれています。

↑ 歴史P.90

バリアフリー

バリアフリーの社会をめざして

—堺市を例に—



↑ 公民P.50

多民族の共生

児童(子ども)の権利条約

18歳未満の子どもの、生きる権利、育つ権利、守られる権利などを保障する条約です。発展途上国では、5歳までに命を失ってしまう子どもが、年間1100万人いるといわれています。また、世界で2億5000万人の子どものがきびしい労働に従事させられ、休日もなく毎日20時間働かされたり、なかには売買される子どももいます。日本やその他の先進国でも、虐待やいじめの問題があります。子どもの笑顔と未来を守ることは、世界各国の使命です。



左: ⑧ 子ども兵士(コンゴ民主共和国) 軍隊や武装集団の一員になっている18歳未満の男女のことです。子ども兵士は、実際に武器をもって戦ったり、物資を輸送したりします。子ども兵士は世界で30万人いるといわれています。
右: ⑨ 学校の設立(ルワンダ)

↑ 公民P.63

アイヌ文化



⑩ アイヌ文化の体験学習ようす(平取町立二風谷アイヌ文化博物館)

↑ 歴史P.272

南アフリカ共和国の変化

南アフリカ共和国では、長いあいだアパルトヘイトとよばれる人種隔離政策がとられ、白人、カラード(混血)、アジア人、黒人という、白人の割合で決められた人種区分に基づいて、少数派の白人による差別的な支配が続いてきました。

長年の反対運動の結果、アパルトヘイトは廃止され、1994年には反対運動の象徴であったマンデラ氏が初の黒人大統領に選ばれました。1995年には南アフリカ共和国でラグビーのワールドカップを開催し、それまで白人のスポーツとみなされていたラグビーの代表チームを国民全体で応援し、人種統合の象徴となりました。その後、南アフリカ共和国は、アフリカ州最大の経済大国として発展を続けています。そのいっぽうで、白人と黒人のあいだの経済格差の解消は進んでいません。また、大都市での治安悪化などの問題も発生しています。



⑪ マンデラ大統領から優勝カップを受け取る南アフリカ共和国チームのキャプテン(1995年)

↑ 地理P.61

② 平和・国際理解にかかわる教材

世界各地の紛争が今なお絶えないなか、平和の形成に貢献し、国際理解を深めていくためには、どのような考え方や態度が重要かを丁寧に解説しました。さらに平和主義を掲げる我が国の立場や、国際協力、国際支援の実態をとらえることを通して、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者としての自覚を養えるようにしました。



→ 公民P.31

日本は、第二次世界大戦後、日本国憲法の理念のもとに社会をきずいてきました。この章では、憲法が具体的にどのようなはたらきをしているのかを学習していきましょう。

戦争では、多くの人が犠牲になったんだね。戦争をなくし、平和な社会をきずくためには、どうすればよいのかな。



⑫ 平和の礎 (2013年、沖縄県糸満市) 国籍に関わらず、沖縄などで亡くなった人々の名が刻まれています。

武器を芸術作品に変える取り組み

モザンビークでは、「銃を線に」というプロジェクトが進められています。日本のNGOが積極的に関わっている、武器を回収する取り組みをみてみましょう。



⑬ 武器の回収 (2012年) ⑭ 回収された武器でつくられた芸術作品 この作品の自転車は、3807の銃からつくられました。

↑ 地理P.66

平和な社会をめざして

新渡戸稲造と杉原千畝



⑯ 1921年に中国の上海で開かれた第4回太平洋会議に出席する新渡戸稲造 (1867~1933) (前列右から2人目) 太平洋をめぐる国々の争いを懸念して話し合う場、新渡戸はアメリカや中国との相互理解の道を模索していました。



⑰ ユダヤ人が脱出しようとしたルート ⑱ イスラエルの切手になった杉原千畝 (1900~1986) (右から2人目) 「命のビザ」を発行した杉原千畝 1940年7月、リトニアの首都カウナスの日本領事館に、ドイツに送られたポーランドからの難民申請を含むユダヤ人たちが、大げんやってくるようになりました。杉原の目的は、シベリア鉄道でソ連を横断して日本にむかひ、日本領土でアメリカなどに移住することでした。

↑ 歴史P.238

自立に向けた取り組み

アフリカ州の国々は、課題の解決のために、さまざまな取り組みをしています。E.U.をモデルにして、アフリカ連合(AU)という地域統合のための国際組織がつけられました。AUは、アフリカ州の政治・経済的な結びつきの強化や紛争解決をめざしています。いっぽう、先進国や中国は、アフリカ州の開発と人々の生活向上のために、さまざまな支援や協力を行っています。日本もアフリカ州への支援や協力を力を入れている国の一つです。ODA(政府開発援助)による紛争後の復興や民主的な選挙の実現のための支援、道路建設、人材育成、農業振興への協力を行っています。NGO(非政府組織)による支援もあり、井戸掘りや学校建設、保健・医療活動など、人々の生活向上のための協力を行っています。また、企業による投資や鉱産資源の共同開発なども増えてきています。



⑲ 衛生的に水を使うための説明をする日本人のボランティア (2012年、ルワンダ)

↑ 地理P.65

国際理解を深める

広がるフェアトレード

世界規模で取り引きされるカカオやコーヒーのような農産物は、ロンドンやニューヨークなどの取引所で価格が決まっています。発展途上国の生産者が不利な価格を押しつけられたり、急激な価格の動きによって生活をおびやかせられたりすることもめずらしくありません。生産者の生活が不安定になると、自然環境や消費者の健康に配慮した農産物を生産することも難しくなります。このような問題を解決するため、生産者の労働に見合った価格で農産物などを買い入れる、フェアトレードという取り組みが広がっています。例えば、エチオピアでは、フェアトレードの開始後、生産者が以前よりも有利な価格でコーヒーを取り引きすることができるようになりました。フェアトレードは、生産者が安全で良い農産物をつくり、消費者がそれを選んで購入することで、生産者と消費者が協力する、新しい形の貿易といえます。



⑳ コーヒー豆の乾燥 (エチオピア)



㉑ 日本の店頭にならぶフェアトレードコーヒー (2013年)

すると、これらの資源の多いナイジェリアやアンゴラ、ボツワナなどで、経済成長が急速に進みました。しかし、経済が成長しても鉱産資源の利益が一部の企業に集中してしまっています。

↑ 地理P.63



㉒ 台風被害への国際緊急援助隊による救助活動 (2013年、フィリピン)

↑ 公民P.201

③ 伝統・文化にかかわる教材



⑥ 原爆ドーム(2012年) 世界遺産をみる
↑地理P.187

世界遺産・国宝



⑩ 青岸渡寺と那智滝(和歌山県那智勝浦町) 世界遺産
↑公民P.15

我が国の伝統と文化について興味・関心を高め、その特色を広い視野から理解できるように豊富な教材を提示しました。伝統と文化を守り伝える国内の取り組みや、世界で評価され受け入れられる文化も紹介し、これらを大切に思い、受け継ぐ態度を養うことができるようにしました。

② 東大寺南大門(高さ約26m) 世界遺産

③ 東大寺南大門の金剛力士像(右:吽形) 国宝

これまでの仏像と、どのようなところがちがっているのかな。

① 東大寺南大門の金剛力士像(阿形:高さ約8.4m 奈良市) 仏師の運慶・快慶が中心となって制作しました。

④ 鎌倉時代の文化と仏教

鎌倉時代の文化と宗教に、どのような新しい動きがみられるようになったのだろう。

↑歴史P.70

受け継がれる文化遺産

よみがえった東京駅

—近代化産業遺産を訪ねる—



⑧ 大正時代の東京駅の様子
大正時代にできた東京駅
新幹線をはじめとする多くの列車が発着する東京駅は1914(大正3)年につくられました。その設計は、当時の

↑歴史P.220

地域に息づく文化



⑨ 秋保の田植踊(上) 伝統文化をみる

←地理P.235

世界に広がる日本の文化



⑤ 世界に広まった柔道(ブラジル)

←公民P.18

④ 我が国と郷土にかかわる教材

国旗・国歌



③ 観客席に掲げられた日章旗 国際的な行事では、国旗を掲げ、国歌が斉唱されます。

↑公民P.178

領土・領域

我が国固有の領土である北方領土や竹島、尖閣諸島について、3分野を通して、歴史的背景や位置および現状を丁寧に解説しました。また、国旗・国歌の学習や、地域についてのさまざまな学習活動を提示しています。これらの学習を通して、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるようにしました。

③ 日本の領域をめぐる問題をつかむ

日本の領域をめぐる問題は、どのようなものがあるのだろうか。

① 北方領土・竹島 領土問題

② 北方領土

③ 竹島

④ 尖閣諸島

⑤ 領土問題の解決に向けて

⑥ 尖閣諸島をとりまく問題

⑦ 北方領土・竹島・尖閣諸島が日本固有の領土である理由を説明しよう。

⑧ 北方領土・竹島・尖閣諸島が日本固有の領土である理由を説明しよう。

日本の風景

残していきたい日本の風景

① 自然の美しさ

② 伝統的な建築

③ 四季の移り変わり

④ 地域の特産品

⑤ 自然災害への備え

⑥ 自然環境の保全

⑦ 自然環境の保全

⑧ 自然環境の保全

↑公民P.14~15

地域の調べ学習

城下町を訪ねよう

城下町姫路を調べる

兵庫県姫路市

① 城下町姫路

② 近世の姫路の様子(17世紀中ごろ)

↑歴史P.114

↑地理P.118~119

⑤ 環境・持続可能な社会にかかわる教材

公害

過去に学ぶ

近代史 公害

日本で最初の公害反対運動—足尾銅毒事件

栃木県の足尾銅山は、明治に入ってから飛躍的に生産量を増やし、重要な輸出産業であった製銅業の拠点の一つとなりました。

1890年ごろから、渡良瀬川に銅毒が流れ出し、下流の田畑の作物が枯れ、魚が死ぬなどの被害が広がりました。煙害や用材のための乱伐で水涸の山々ははげ山となり、1896年には大洪水が起こって、3万ヘクタールをこえる土地が鉱毒におおわれました。

地元の衆議院議員由中正は、農民とともに鉱山の操業停止と被災民救済を政府に訴えました。新聞や都市の知識人らの支援は広がり、政府は鉱毒の防止を命じましたが、十分な解決をみないまま、運動はおさえられていきました。日本の公害反対運動の原点といわれる事件です。

⑤ 足尾銅山(神奈川県 横浜開港資料館蔵)



④ 由中正造 (1841~1913) (東京都 国会図書館蔵)

↑ 歴史P.197

環境問題

自由研究 地球温暖化を防ぐために

世界じゅうで、平均気温が上昇する地球温暖化が進んでいます。地球温暖化はなぜ起こるのでしょうか。地球温暖化を防ぐためにはどうすればよいのでしょうか。



① かつていく氷河(フランス)

② 世界の平均気温の変化(2013年刊 環境年表) 年によるばらつきはありますが、気温が上昇していることがわかります。

③ 二酸化炭素の国別排出量(2013年刊 世界国勢調査)

影響で、洪水、土砂ずずれ、なだれなどの災害が起きやすくなったとされ、防災対策が行われています。

地球規模の環境問題である地球温暖化を防ぐためには、温室効果ガスの削減に、世界全体で取り組んでいく必要があります。1997年には、日本をはじめとする先進国が、温室効果ガスの排出量を減らす目標を定めました。今後は、先進国が削減に取り組むのはもちろんですが、排出

↑ 地理P.56

持続可能な社会

持続可能な社会をめざす取り組み

将来、みなさんが大人になったとき、自動車の購入や運転、住宅の購入、仕事における環境への配慮のしかたなど、選択のしようによっては、中学生のときよりずっと大きな負担を地球環境にかけられるかもしれません。日本では、政府、企業、地域や学校といった社会全体で持続可能な社会に向けた取り組みが盛んです。私たちは、こうした取り組みを社会全体で進めて、生活することが求められています。



↑ 公民P.199

↑ 地理P.156

現在を分析する

エネルギー

地域からのメッセージ 原子力発電所の事故と再生可能エネルギー

福島第一原子力発電所の事故は、日本全体に大きな影響をおよぼしました。日本が直面するエネルギー問題を、私たちは今後どう考えていくべきなのでしょう。



福島第一原子力発電所の事故

日本の原子力発電所は、原子力を活用するために必要な大量の水を手に入れやすい海岸沿いに建てられています。2011年の東日本大震災では、太平洋に面した福島第一原子力発電所を、高さ約15mの津波がおそいました。地震と津波によって、すべての電源と、原子炉が水に浸って冷却する機能が失われました。その結果、原子炉が閉鎖されている地域が広がって、その地域からの避難者は、およそ3万人にのぼっています。

放射線量の高い地域では、放射線物質を取り除いて放射線を下げた除去作業が行われています。また、福島第一原子力発電所では、閉鎖した原子炉を廃止する作業(燃料が燃え尽きたり、放射線量が低いなかで、世界でも経験したことがない困難な作業であるため、廃止には長い時間がかかる)と予想されています。

↑ 地理P.156

未来に生かす

⑥ 災害・防災にかかわる教材

水害

先人に学ぶ 信玄堤

—今に伝わる戦国時代の治水事業—



↑ 歴史P.91

災害から学ぶ

地震災害

大災害に強いくらしをきずく

—東日本大震災における取り組み—



てんでんこの教え—自助—

東北地方の三陸海岸は、過去いく度となく津波におそわれ、そのたびに大ぜいの人の命が失われ家が破壊されるなど、大きな被害を受けてきました。そうした経験の

り頭に入れておいて、いざというときには一人一人が率先して高台に上げる。それを知っている家族は、学校にいる子どもたちはきっと無事ににげているはずだと信じて、自分たちの避難を考えることができます。このよう

↑ 公民P.104

防災・減災

地域からのメッセージ せまりくる巨大地震

—南海トラフ沿いの巨大地震にそなえて—

地震の多い日本では、つねに巨大地震に対する防災対策を進めておく必要があります。南海トラフ沿いの巨大地震にそなえた取り組みをみてみましょう。



南海トラフ巨大地震とは

伊豆半島の西側にある駿河湾から、宮崎県神の日向灘にかけての南海トラフでは、マグニチュード8級の東海地震・東南海地震・南海地震とよばれる巨大な津波をともなう大地震がくり返し発生してきました。複数の地震

され、茨城県や若狭市でも津波によって広い範囲が浸水すると想定されています。三大都市圏を含む広大な地域が被災することになり、日本社会全体への深刻な影響が心配されています。

巨大地震にどうそなえるか

生徒が主体的に 防災・減災に取り組む



このページに画面を合わせると、五百旗頭真先生(熊本県立大学理事長、ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長)の防災・減災に関する動画を視聴できます。

↑ 地理P.148

今日の社会を生きる子どもたちのために
⑦情報にかかわる教材

クワイティティ 新聞を活用しよう

A新聞 (2009年5月2日) B新聞 (2009年4月3日)

9条改正反対64%
改憲必要は53%

憲法改正賛成52%
国際貢献「ねじれ国会影響」

世の中のできごとを報道する新聞は、私たちに身近な情報源の一つで、世論にも大きな影響をあたえます。新聞から必要な情報を集めてみましょう。

①情報を集める…興味のあるテーマや記事をスクラップしましょう。一つの新聞だけでなく、複数の新聞を比較すると、同じできごとでも記事の取りあつかい方や見方にちがいがあります(⑥参照)。

②疑問を調べる…記事を読んで出てきた疑問を調べましょう。新聞の縮刷版を使えば、同じテーマの記事を過去にさかのぼって調べることができます。また、新聞のほかに書籍なども調べましょう。

③まとめる・発表する…記事をもとに調べたことを、新聞形式に整理するなどして発表しましょう。

↑公民P.83

メディアの活用

シベリア鉄道

●文献資料や統計数値を使って調査する
シベリア鉄道は、まず、ロシアのあらましについて、百科事典や新聞記事などの文献資料を使って、統計数値を確認しながら調べてみました。

統計数値を見ると、ロシアの国内総生産が大きく増えていました。その理由を調べて、石油や天然ガスなどの鉱産資源の輸出が好調で、経済が発展していることがわかりました。ロシアでは、宇宙産業も盛んです。国際宇宙ステーションへのゆききには、ロシア製のロケットが使われているそうです。

●ロシア製のロケットの打ち上げ(2013年、カザフスタン)

●旅行体験記や小説を使って調査する
次に、旅行ガイドブックやブログの旅行体験記から、シベリア鉄道の沿線のようすや、建設された理由について調べてみました。

シベリア鉄道は、全長9300kmの非常に長い鉄道路線です。列車は、ヨーロッパの生活・文化がみられる首都モスクワを出発して、広大な農地が広がるロシア西部を走ります。

ワラル山脈をこえたと、シベリアです。出発から4日目に、シベリアの中心都市イルクーツクに着きます。れんが造りの教会や修道院、ロシア伝統の木彫りの窓わくでかざられた木造の建物があります。その後、列車は、深い針葉樹林に囲まれたバイカル湖の青い湖面を線路沿いにながめてから、ロシアの広大な大地を走って太平洋に向かいます。出発から7日目に、太平洋岸のウラジオストクに着きます。

シベリア鉄道は、鉱産資源などの貨物の輸送、軍事的な利用、シベリアの開発などのためにつくられました。現在でも貨物輸送が盛んで、重要な鉄道路線です。

↑地理P.105

情報社会

2 進む情報化と変わる私たちの社会

情報化が進む日本社会では、どのような変化と課題があるのだろうか。

インターネットや携帯電話の発達によって、私たちはさまざまな情報や知識を得ることができ、友達や遠くの家族とつながり、ゲームを楽しんだり買い物したりすることができます。このように、私たちは国内だけでなく世界じゅうの国の人たちと自由に交際できる情報化が進んだ社会に生きています。コンピューター、モバイル端末、通信技術などが一体となって進んだ情報通信技術(ICT)は、すでにそれがなかった時代を思い出せないほど、私たちの暮らしを変えました。現代社会は、電子信号をかなたとする高度情報社会になったのです。

情報化によって、情報通信技術が社会を成り立たせている人々や企業、個人や個人とつながる技術です。これらを用いることで、科学技術が「そう発展し、政治・経済のみにくもい効果をもたらされたと期待されています。また、体に障がいがある人々も、ICTによって社会に参加する機会が多くなっています。

●インターネット利用で感じる不安(2014年刊 情報通信白書)

個人情報が外部に漏れていないか	81.4%
コンピューターウイルスへの感染	76.7%
電子決済の信頼性	47.4%
迷惑メールが来ること	46.5%
どこまでセキュリティ対策が行われているか	45.0%
架空請求やインターネットを利用した詐欺	42.9%

↑公民P.6~7

情報社会に生きる生徒に対して、情報リテラシーや情報モラルを高めることができる資料を提示しています。情報の適切な選択・収集や情報に対する接し方などを具体的に紹介し、情報収集や情報発信の方法についても習得できるようにしました。

メディアの活用

情報発信

スキルUP

歴史新聞づくりのポイント

〔基本設定〕

- だれに向けてどんなことを伝えたいのかを考える。

〔紙面づくり〕

- 調べたことを自分の言葉に書き直して記事にする。
- 文章以外に、イラストや写真を入れて、わかりやすい紙面を心がける。
- 新聞をつくって考えたことを書くコーナーを、必ず設ける。

↑歴史P.93

↑公民P.60

今日の社会を生きる子どもたちのために
⑧社会参画にかかわる教材

ボランティア活動

クワイティティ ボランティア活動しよう

ボランティアは、自分の意思で無償で行う地域や社会に役立つ活動のことです。自分ができると、興味のあることから始めてみましょう。

①⑥からやってみようボランティア活動をあげてみましょう。

②なぜそのボランティアをしたいのかを、グループで発表し合おう。

老人介護施設に行った生徒の感想

最初は緊張しましたが、介護のようすをみたり、お年寄りとお話をしたりするうちに、自分にもできることがあるのではないかと感じました。施設の人が、「一人一人個性のある高齢者に合わせた介護をするのが大変ですが、それがまたやりがいでもあります」と話しておられたことが、心に残りました。次に行くときは、自分にできることを考えて行きたいです。

③タイプ別のボランティア活動

世界観が豊か、肉体的負担が大きいこと	リサイクル活動 清掃活動 下草刈り
ストレスや精神的負担が大きい	野外活動やスポーツの指導
体を動かすのが好きな人	高齢者や障がい者の介助 保育・託児
人づき合いが好きな人	翻訳・通訳 手話通訳 歌や楽器の演奏
特技のある人	福祉マップの作成 防災・災害援助 文化・伝承活動
地域が好きの人	福祉マップの作成 防災・災害援助 文化・伝承活動
国際交流をしたい人	日本語ボランティア 物資援助

④在宅介護に感じる不安(内閣府資料)

世帯の負担が重く、肉体的負担が大きいこと、ストレスや精神的負担が大きい、家を留守にできない、介護に要する経済的負担が大きい、仕事をやめなければならない、適切な介護のしかたなど、必要な知識がない

↑公民P.167

まちづくりへの参加

第2編 学習の活用 私たちにできることを考えよう

各級は、調査結果をまとめて、クラスで発表を行いました。調査結果のまとめには、地域の課題と、課題を改善するための提案を盛りこみましたが、各級が調査のなかで気づいた課題をすべて取り上げることができませんでした。

そこで、街づくり班が気づいた課題の一つである、桃花台ニュータウンの地域のつながりについて、さまざまな取り組みに参加してみることにしました。

●桃花台まつり

私たちは、桃花台ニュータウンにお住まいの人が移り住んで来たために、地域のつながりがうすいことも課題であることに気づきました。そこで、中学生である私たちに何ができるかを考え、さまざまな地域の行事や、公園の美化活動などに積極的に参加することにしました。私たちの住むまちにふさわしい、そして桃花台ニュータウンが 元気、もっと住みやすい町になるよう努力していきたいと思っています。

●小牧市の外国人登録者数(2012年刊 小牧市統計年報)

合計	7800人
外国人	440人
日本人	7360人

未来に教訓を伝える中学生の活動

●女川いのちの石碑(2013年) 生徒の思いに共感した宮城県内の石材店の協力や募金によって、石碑の建設が実現しました。

●公園の緑化活動を伝える新聞記事(2013年)

●小牧市の外国人登録者数(2012年刊 小牧市統計年報)

↑地理P.268

社会参画への意識を高めることができる教材を系統的に提示しています。さまざまなボランティア活動やまちづくりといった地域の取り組みへの参加など、公民的資質を育むために必要な場面を紹介し、社会を形成する一員としての自覚をもてるようにしました。

生徒の将来を見すえて

15歳は「子ども」? それとも「大人」?

15歳は「子ども」でしょうか、それとも「大人」でしょうか。日本の法律で決められている15歳の年齢と、その年齢を過ぎたか、大人にならなうかどうか、考えてみましょう。

●15歳は「子ども」?

●15歳は「大人」?

●18歳選挙権の成立

●選挙権のルールづくり

●民法

●労働基準法

●労働時間

↑公民P.66~67

↑歴史P.275

